

# ウッドリンク株式会社60周年 アルスホーム株式会社30周年 記念講演会 人生を拓く力「人間力」

本年、ウッドリンクは設立60周年、アルスホームは設立30周年を迎えました。両社の節目を記念し、このほど富山国際会議場で記念講演会を開催。多摩大学大学院教授の田坂広志氏が、人生を拓く力「人間力」をテーマに講演、約600人が聴講しました。講演要旨を紹介します。

# 相手の心を感じ取り、自分の心を見つめる力



多摩大学大学院教授 田坂 広志氏

たさか・ひろし 1951年生まれ。74年、東大工学部卒業。81年、東大大学院修了。工学博士(原子力工学)。1987年、米国シンクタンク・パテル記念研究所客員研究員。2000年、シンクタンク・ソフィアバンクを設立。同年多摩大学大学院教授に就任。世界経済フォーラム(ダボス会議)Global Agenda Councilメンバー、元内閣官房参事。

「1期一会」といって演説を話すと、少し面はゆるみませんが、私が64年の人生を歩んできた道すがら感じたことを申し上げたいと思います。この「人間力」という言葉は、私も若いころは説教じみた言葉に思えたものです。しかしその後数十年の歳月を歩みながら、この言葉が人生においてどれほど大切な言葉かを深く学びました。振り返れば、たまたま大学出れば人生が拓けるというところで決まっていた。同級生を見て、勉強ができた者が必ずしも道を拓いていくわけではありませぬ。人生を拓くために最も大切なものは「人間力」を身に付けていくことに尽きます。

## 一期一会という言葉

例えば、「一期一会」という言葉は誰かが知っています。しかし大切なことは言葉の意味を知って知っていることではありませぬ。問われるのはそれを覚えているか否か。私自身も、日々この言葉を行く修行中の身です。

## 一期一会という言葉を古

私がこの言葉を心に刻んだのは、大学で放射線医学を学んでいる時でした。その時の教授は弟子を厳しく育てる方でしたが、その下で文章の修行をしたおかげで、今こうして物語の道歩むことができています。

会場の皆さんとお会いするのは、これが最初で最後かもしれない。そうであるならば、この90分という時間を一杯大切にに使わせていただきたい。もとより、私の話をどう受け止めていただくかは皆さんにお任せするしかありませんが、私自身ベストを尽くす覚悟があります。これも一期一会の修行です。

「一期一会」という一つの言葉を古典から学び、ただ知識として理解するのではなく、何十年の歳月を人生のさまざまな場面で行くことを続けられれば人生は必ず拓けます。だから、こうしてこの言葉を若いとき心に刻むことに鳴り響き続け、我々の人生を導いてくれます。

私のその後、大学院の博士課程を終え、大学に残って研究者としての道を歩みたいと考えていましたが、あいにく大学にポストがなく民間企業に就職するしか道はありませんでした。それでも、せめて中央研究所に配属になれば研究を続けられるかと思っていたのですが、願いに反し原子力産業の法人営

業の部署に配属されたのです。7年遅れて社会に出た若者が、最も厳しい法人営業の世界に投げ込まれたのです。しかし、途方に暮れながらも与えられた仕事を、まずはしっかりとやり遂げ覚悟を定めました。

「受注して業績を上げよう」と考える前に、まずはお客さまに喜んでいただくことを心掛けたのです。

「受注して業績を上げよう」と考える前に、まずはお客さまに喜んでいただくことを心掛けたのです。

## 人間の心

「人間の心」とは「心の世界」が分かるということです。その力量は心理学

## 人間の心

「人間の心」とは「心の世界」が分かるということです。その力量は心理学

## 一期を照らす

私自身もいま人生を振り返れば、天に導かれました。大学に残っていた一人の若者が、民間企業の法人営業という世界に投げ込まれた。そのおかげで相手の心を感じ取り、自分の心を見つめる力を学び、人間力を磨いていきました。もとより、人生は命尽きるまで修行ですが、年を重ねるにつれ、深い世界が見えるようになってきました。

## 無意識の自己限定

この精神のスタミナは、年を重ねても高まっています。私は49歳から、多摩大学大学院で夜6時半から9時半までの時間、真剣勝負の講義を行っています。15年前は講義が終わると相

## 人間の心

「人間の心」とは「心の世界」が分かるということです。その力量は心理学

## 人間を磨く

「人間力」とは「心の世界」が分かるということです。その力量は心理学

## 言葉と心の一致

我々の人生を照らすのは、多くの場合「心」の動きです。例えば会社を辞めるとき、怒りに任せて辞表をたたきつけるのも心の動きです。これは

## 人生における解釈力

人生を拓くのは「解釈力」が全てと

## 精神のスタミナ

歳を重ねると見えるのが、名刺交換の場面の怖さです。経験を積んだ人は互いに笑っていても、相手の「人

「解釈力」が全てと

「解釈力」が全てと

「解釈力」が全てと